

週間漁海況情報—第31号

平成25年8月5日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

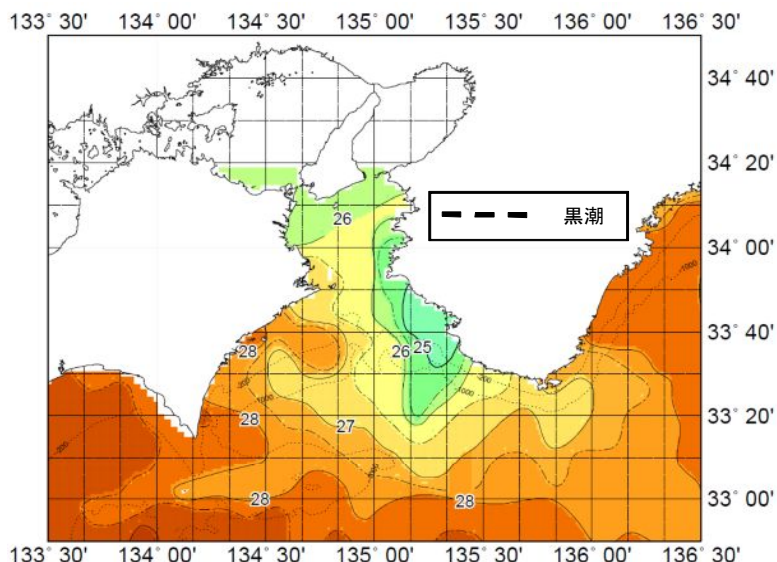
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.8.5）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖でやや離岸している。

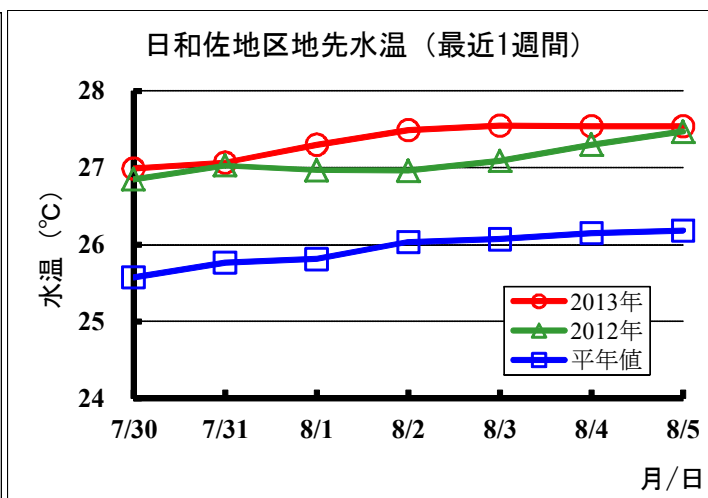
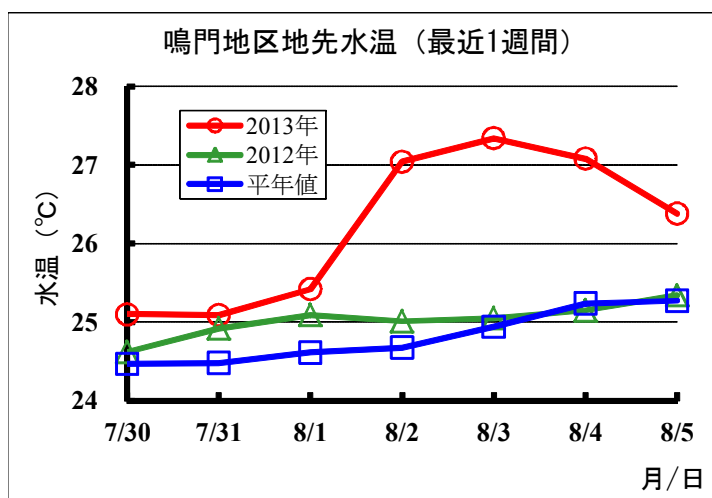
黒潮本流の表面水温は、29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で26～28℃台、紀伊水道で26～28℃台、海部沿岸で27～28℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。紀伊水道外域の和歌山県沿岸に、やや水温の低い25～26℃台の海域が見られる。



播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
8/1	今年値	27.7	26.2	24.5	23.5	31.6	31.7	31.9	32.3
	平年偏差	1.5	1.5	0.7	0.5	0.2	0.1	0.1	0.4
	前年偏差	0.2	0.6	-0.2	-0.3	0.7	0.7	0.8	1.0

漁業調査船「とくしま」で8月1日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層～10m層が「高め」の26.2～27.7℃、20～30m層が「やや高め」の23.5～24.5℃であった。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の25.1～27.3℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の27.0～27.6℃、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の27.5～28.6℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大・中・小主体にアカムツが1.2トン（1日1隻あたり20kg）、大主体にゴマサバが0.2トン（同9kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが0.7トン（同16kg）、マイワシが0.5トン（同36kg）、ウルメイワシが0.5トン（同25kg）、小小主体にアカカマスが0.3トン（同8kg）、マルソウダが0.3トン（同10kg）、小主体にヒラソウダが0.3トン（同13kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、イサキが0.3トン（同8kg）、マルソウダが0.5トン（同11kg）、活主体にヨコワが0.3トン（同1kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.2トン（同8kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが31.0トン（同333kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 7月29日～8月4日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	60	1,199	20	大・中・小主体
		ゴマサバ	25	229	9	大主体
小型定置網		マアジ	42	652	16	小主体
		マイワシ	14	509	36	
		ウルメイワシ	21	521	25	
		アカカマス	38	303	8	小小主体
		マルソウダ	29	300	10	
		ヒラソウダ	26	328	13	小主体
		釣り	イサキ	33	265	8
マルソウダ			46	501	11	
ヨコワ	518		329	1	活主体	
紀伊水道	タチウオ		30	236	8	特大主体
パッチ網		シラス	93	31,000	333	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月30日～8月5日においては、台風10及び11号の影響を受けたため、特に海部沿岸では出漁回数が少なかった。海部沿岸では、延縄で、小・中主体にアカムツが0.1トン、小型定置網で、マルソウダが0.5トン、釣りで、特大主体にタチウオが0.3トン、パッチ網で、シラスが46.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖において、「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」～「高め」の26～27℃台、日和佐地先で「やや高め」～「高め」の27～28℃台で推移する見込み。